

# 青森県総合社会教育センター主催事業報告

## 令和7年度 地域と学校をつなぐキャリア教育研修会

令和7年 9月 4日(木) 外ヶ浜町立蟹田中学校 受講者14名

令和7年11月 5日(水) 十和田市立大深内中学校 受講者14名

### 1 内容

【テーマ】講義「地域におけるキャリア教育の意義と役割について」  
見学「地域住民による社会人講話  
～働く人と生徒との対話集会～」

【進行】県総合社会教育センター職員



#### 【講義要旨】

- こどもたちを取り巻く環境の変化により、学校が抱える課題も複雑化・困難化している。  
そのため、学校と社会が連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を育む必要がある。
- キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質、能力、態度を育てることを通して、キャリア発達を促すもの。
- キャリア教育で培いたい資質、能力、態度は、「自己をみつめる力」、「つながる力」、「動く／生かす力」であり、それらを支える心は「自分自身を大切に思う気持ち」や「ふるさとを誇りに思う気持ち」である。特に「郷土への愛着や誇り」は、地域の大人との関わりによって育まれる。

### 2 受講者の感想

#### (東青地区)

- ・地域の大人がこどもたちを育てる、ふるさとへの愛着をもつことで地元に戻るきっかけづくりになるなど、講義の内容に加え、参加者同士の意見交換が有効で、学びが多かった。
- ・これまで、地域のことと学校のことは別なものという感じがしていたが、地域の力を借りながら働くことを考えていくことで、より深い学びになるのだと考えることができた。
- ・中学生の興味に対して、仕事の話だけでなく、自分自身の人生の話や失敗をどう乗り越えたかなど、人として感心できる話が多く、大人が聞いてもとても勉強になった。



#### (上北地区)

- ・キャリア教育は学校だけでなく、地域の力も必要になってくると感じた。職業、仕事内容、企業を知ることも大切だが、就職したきっかけや働いてみてどんなことを得られたかなどについて、生徒が知る機会を増やしていくことが今後必要だと思った。
- ・どの講師の方も、聞いている生徒に響く内容で話し、意見を引き出すような問い合わせをしていました。特に日常の様々なことがキャリア教育につながっているということを意識できたと思う。
- ・視野の広がる企画だと思った。講師の方々がいずれも魅力的で、地域のことを誇りに思っていることが伝わってきて、キャリア教育に適した人材だと感じた。